

2018年7月28日

「学まち連携大学」促進事業

中間評価

同志社女子大学「京町家の中核とした未来の京都まちづくりプログラム」において これまでに実施してきた取組

これまでの事業実施計画としては、申請計画にもあるように、以下の3つの目標と視点から推進してきた。

- ① 京都の中心部の町家を活用した地域学習を通したまちづくり
- ② 先進的なまちづくりを行っている北海道富良野において学生・地域住民を交えた観光地域と中心市街地の両立を視座に置いた地域学習の推進
- ③ 東日本大震災での被災地域で進められている再生まちづくりの推進

こうした他地域での事例を通した学習成果を京都へとフィードバックさせながら、京都のこれからのまちづくりについて地域学習を展開し、京都の地域学習の深化をめざしてきた。

まず、達成目標①の町家をとおしたまちづくり、町家講座の環境整備については、ハード面については補助金を活用しながら授業展開、地域住民との学習環境の整備を進めてきた。中核となる町家講座は、年間全8回の日程で実施してきた。さらに、社団法人紫式部顕彰会と協働する形で、源氏物語に関するプログラム（4月、12月、2018年6月）を実施し、京都の中心市街地における平安時代からの遺構の保存と活用について、現地学習を通しながらワークショップを実施してきた。

達成目標の中で記した授業との連携強化に関しては、全学にわたる学生の町家講座への幅広い参加を得るとともに、「京都フィールドワーク」等今出川・京田辺の二キャンパスにおける幅広い学生を対象とした京都に関する正規授業科目とも連携を強化することができた。

また日本女子大学・高雄科技大学（台湾）からの国内・海外協定留学生の参画（2017・2018年度）や京都大学をはじめ京都市内の他大学からの学生の参加、さらには富良野緑峰高校の高校生を京都に招き、高校生の視点・大学生の視点・地域住民の視点を踏まえた交流会を行うなど、地域連携を図りながら、大学の枠を超えて幅広い学生、生徒と地域住民が学習する場を提供することができた。

さらに、こうした京都における学習成果を他地域においても発信する作業として、2018年2月3日に開催された町家講座においては、被災地のまちづくりの現状と課題、そしてそこから見える京都への教訓について学生主体の講演を行い、2018年2月17日に開催された「同志社女子大学大阪講座 京のみやこと難波宮 -歴史と文化の重層性-」の講演会において、併設開催の形で町家での学習と、本事業計画での東北被災地におけるまちづくりの学習についてポスター展示の発表を行い、地域の多くの参加者と交流・意見交換を行うことができた。講演会自体の準備や運営にも学生が積極的に参画し、京都における学習成果や、地域連携の実態を発信する活動を行ってきた。

つぎに、②まちづくりの先進地域として国土交通大臣賞を受賞するなど、京都と同様の観光と中心市街地のまちづくりの課題を有する北海道富良野における学生と地域住民・高校生など多世代交流型の学習では、1945年からの空中写真を活用しながら、地元のNPO組織等と連携しながら地域学習をおこない、図書館や公民館での展示を行うとともに、行政・教育・観光・農業など幅広い方々を含めて2017年8月に報告会を実施し、その様子は「北海道新聞」などで紹介された。また2018年6月には富良野でのまちづくりを京都の洋館で紹介し、

その枠組みを京都でもおこなうワークショップを実施し、地域の方々と活発な意見交換をおこなってきた。

そして、③東日本大震災被災地における学習については、これまで宮城・岩手・福島を中心に仮設住宅に居住する高齢者と、旧集落での生活やその再建を視野に入れた交流学习を通して、地域の課題やこれからの新しいまちづくりについて学習活動を行ってきた。2017年度後半からは、本学創立者である新島八重ゆかりの福島県の浜通り地域、そのなかでも避難準備指定が解除されたばかりの浪江町を対象として、2018年より始まったまちづくり会社を通じた中心市街地再生のプロセスを学習し、京都との対比を行うとともにフィードバックさせ、7月には現地調査を行うなど学生による調査・企画を進めてきた。

以上のように、本プログラムでは京都の町家の中核として、他のさまざまな先進的な地域の事例と比較・対照する視点を学生に醸成させながら、そこから地域間に共通する課題、さらに京都の独自性を再確認し、その学習成果を京都へとフィードバックさせている。そして多世代に渡る京都の地域の方々と知見を交換しながら、これからの京都のまちづくりの創出や可能性について、「京都学」の視点から地域学習を展開している。



空中写真を活用した地域学習・富良野
図書館での展示（2018 富良野）



富良野のまちづくりと京都を結ぶ
ワークショップ（2018・京都）



福島・浪江の新しいまちづくり
事業者への調査（2018）

〈京都〉を舞台として、様々な地域への取り組みと交流



被災地のまちづくり・京都での
報告と意見交換（2018 京都）



京都のまちづくり・京町家での報告
（2018・京都）



京都や被災地のまちづくり 展示・報告会
（2018 大阪歴史博物館）